



2012年8月8日  
セントラル野球連盟  
パシフィック野球連盟  
スカパーJSAT株式会社

## 7月度「スカパー！サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の7月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金 30 万円が贈られます。

### ～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

**石原慶幸 (広島東洋カープ)**  
初受賞

7月17日(火)の対中日13回戦(マツダスタジアム)、0対2と2点ビハインドで迎えた9回裏、チームは相手・守護神への必死の反撃で同点とし、なおも続く1死満塁のチャンスから石原選手がセ・リーグ18年ぶり(前回は広島)となるサヨナラスクイズを決め、土壇場での劇的な逆転勝利を収めました。広島は翌18日は敗れたものの、オールスター前の戦いを15年ぶりに5割、Aクラスで折り返し、この日の勝利が大きく貢献したことは言うまでもありません。

### ～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

**柘田慎太郎 (東北楽天ゴールデンイーグルス)**  
初受賞

柘田選手は、7月10日(火)の対オリックス10回戦(Kスタ宮城)、3対3の同点で迎えた10回裏二死一、二塁の場面で、左中間スタンドへサヨナラ3点本塁打を放ちました。この回の東北楽天は、単打、犠打、故意四球で一死一、二塁の好機を作ったものの、柘田選手の前の打者が三振に倒れ二死に。この場面で柘田選手は初球を積極的に叩き、時間制限による引き分け寸前でチームを勝利に導きました。3打点は今シーズンNPBのサヨナラ打の中で最多となりました。

月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手に贈られる賞として今シーズン制定されました。「最後の一球まで何が起こるかわからない」と言われるプロ野球の象徴的なプレーであるサヨナラ打を称える本賞は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」を掲げているスカパー！ならではの賞です。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞」を制定しています。

以上